

# 「自然を大切にすゝる意味」

## 「自然を大切にすゝる意味」

“不法投棄”という心ない行為が後を絶たない。

道路わきに無造作に投げ捨てられたレジ袋、

その中に詰め込まれた空き缶や商品を包装していた袋

足元にはタバコの吸い殻…

大きなものでは、洗濯機やテレビといった家電製品

使いふるされた自動車のタイヤ…

これらは、まちがいなく人の手によって行われた行為です。

それが、どれだけ自然や地域の人たちに負担、

迷惑をかけているのかを感じてもらいたい。

不法投棄された物を地域の人たちが、拾い集め、

そして分別し、処分する姿が見られる。

その口々からこぼれる言葉は、

「どうして捨てるのだろうか？」との疑問である。

自然は日々の生活で空気のような存在、

自分に直接、影響がなければ、

道ばたや山へ、ゴミを捨てることをためらわない、

心を痛めないのだろうか。

その行為が自然や地域の人に大きな負担、

迷惑をかけているという事実を

しっかりと自覚してもらいたい。

不法投棄は人が行う行為、

それなら人がそれを防げるはず、

自然を大切にすゝる意味は、

地域の景観を磨くため、

生活環境を快適にするため、

地域の資源を護るため、

人それぞれ、考え方や立場で異なるが、

一人ひとりが自然や他人を想う気持ち、

“おもいやり”もあるのではないだろうか？

みなさんはどう思いますか？

身近な自然への接し方、

みなさんも一度、考えてみてください。



平成19年度

48名の七尾市不法投棄監視員（市委嘱）および  
環境安全課が取り扱った悪質な不法投棄51件

《主な内容》

自転車4台

家電製品（テレビ・洗濯機など）23台

タイヤ類 55本

家具類（テーブル・ソファーなど）3台

その他（消火器、ストーブ、ふとんなど）24個



## 【自然に耳を傾ける。】

近年、テレビや新聞などで大きく取り上げられる地球温暖化も、わたしたちの日々の生活において行ってきた行為による環境破壊が、影響しているといわれています。

これから、何もせず、ライフスタイルを変えず、知らず知らずに、自然に負荷を与え続けたとしたら、どのようなことになるのか…。

一人ひとりが、身近な自然の現状に目をむけ、耳を傾け、語りかけてくるものを見聞きし、そして、環境との関係のあり方を考え、改めるべきことは改めていかななくてはなりません。

今、七尾市では、私たちが未来の環境を守り育むための設計書となる「**七尾市環境基本計画**」を策定しています。

住民が、企業が、そして行政が、環境保全に対して、社会における立場や役割において誰かではなく、自身に取り組むべきこと、自身に取り組まなくてはならないと考えること、さらに、みなさんが想うわがまちの環境像を聴かせてください。

※策定の進捗状況は市公式HP (<http://www.city.nanao.lg.jp/>) および本庁市民ロビー（1階）で、閲覧することができます。

☆環境基本計画に関するご意見・ご要望は  
総務部環境安全課

TEL 53-8421

FAX 53-8411

E-mail [anzen@city.nanao.lg.jp](mailto:anzen@city.nanao.lg.jp)